

新潟日報

2015年(平成27年)5月21日(木曜日)

世界最大規模のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ2015」(IWC)の日本酒部門の審査結果が20日までに発表された。本県からは本醸造酒の部の最高賞(トロフィー)に竹田酒造店(上越市大潟区)の「かたふね特別本醸造」が選ばれた。同銘柄のトロフィー受賞は2年ぶり2度目。IWCは英国のイベン

竹田酒造店が最高賞



国際品評会・日本酒本醸造酒の部

2年ぶり2度目

ト会社が主催。日本酒部の300社が計876点門は2007年に設けらる。4月にロンドンれ、純米酒、純米吟醸酒で審査が行われ、金、銀、銅の各メダル受賞酒を決めている。ことしは国内外 トロフィーは各所で金

インターナショナル・ワイン・チャレンジ2015でトロフィーに輝いた竹田酒造店(上越市大潟区)の「かたふね 特別本醸造」

メダルを受賞した酒から1点ずつ選ばれる。7月にトロフィーの中から本酒部門の最高賞が発表される。を伝えることをコンセプトに造ってきた。日頃お客さんに飲んでもらっている酒が評価されうれしい」と話した。

「かたふね」は米のうまみを生かしたこくとうみくらみのある味わいが特徴。竹田酒造店の竹田穂三磨三割五分大吟醸成典社長は「米のうまさ」が金メダルに選ばれた。